

証券コード 455A  
2026年3月16日  
(電子提供措置の開始日 2026年3月9日)

株 主 各 位

東京都港区愛宕2丁目5番1号  
愛宕グリーンヒルズMORIタワー21階  
株式会社バリューソフトホ  
ールディングス  
代表取締役 酒 井 雅 美  
社 長

## 第4回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第4回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。

本株主総会は電子提供措置をとっており、会社法第325条の3の規定により、電子提供措置事項をインターネット上の当社ウェブサイトに掲載しておりますので、以下の当社ウェブサイトアクセスのうえご確認くださいようお願い申し上げます。

当社ウェブサイト

<https://www.valuesofthd.co.jp>

電子提供措置事項は、インターネット上の当社ウェブサイトのほか、東京証券取引所ウェブサイトにも掲載しております。当社ウェブサイトにて、電子提供措置事項を閲覧できない場合には、以下の東京証券取引所ウェブサイト(上場会社情報サービス)にアクセスしていただき、銘柄名(会社名)又は証券コードを入力・検索し、「基本情報」、「縦覧書類/PR 情報」を選択のうえ、株主総会招集通知ページに掲載されている情報を閲覧くださいますようお願い申し上げます。

東京証券取引所ウェブサイト(上場会社情報サービス):

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

なお、当日ご出席願えない場合は、お手数ながら後記の「議決権の代理行使の勧誘に関する参考書類」をご検討下さいまして、同封の委任状用紙に賛否をご表示いただき、ご押印の上、ご返送くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

## 記

1. 日 時 2026年3月31日(火曜日)午前10時00分(受付開始 午前9時30分)

2. 場 所 東京都港区愛宕2丁目5番1号

愛宕グリーンヒルズMORIタワー21階 弊社会議室

3. 目的事項

報告事項

第4期(2025年1月1日から2025年12月31日まで) 事業報告の内容報告の件

決議事項

議案 第4期(2025年1月1日から2025年12月31日まで)計算書類承認の件

以 上

~~~~~  
◎電子提供措置事項に修正をすべき事情が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト  
(<https://www.valuesofthd.co.jp>)において、その旨、修正前の事項及び修正後の事項を掲載いたします。

## 【参考書類】

### 議決権の代理行使の勧誘に関する参考書類

1. 決議事項の代理行使の勧誘者

株式会社バリューソフトホールディングス  
代表取締役社長 酒井 雅美

2. 株主の議決権の数 1,000個

3. 議案および参考事項

第1号議案 第4期(2025年1月1日から2025年12月31日まで)計算書類承認の件

会社法第438条第2項に基づき、当社第4期計算書類の承認をお願いするものであります。

第4期事業年度(2025年1月1日から2025年12月31日)に係る計算書類(貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表)をお諮りするものであります。

取締役会といたしましては、第4期の計算書類が、法令及び定款に従い、会社財産及び損益の状況を正しく示しているものと判断しております。

# 事業報告

[2025年1月1日から2025年12月31日まで]

## 1. 会社の現況に関する事項

### (1) 事業の経過および成果

当期における我が国における経済およびソフトウェア業界は、外部環境の不確実性に直面しながらも、構造変化を伴う成長フェーズに入った一年でありました。経済全体では賃金上昇を背景に内需が堅調に推移し、企業収益の改善と設備投資が拡大するなど景気回復基調が着実に進展しました。当社グループの所属するソフトウェア業界においては、デジタルトランスフォーメーション投資の継続的拡大、クラウドサービスの普及、生成AI技術の本格活用などにより、法人向けITソリューション市場は堅調に推移致しました。特に受託開発分野では公共、金融、製造など幅広い業種で案件が増加しました。

今後、デジタル人材の不足やAIガバナンス、クラウドコスト最適化等の課題が残る一方AIエージェントや高度自動化ソリューションの普及が新たな成長機会を創出すると見込まれ、高まる顧客企業のデジタル化ニーズに対応するため、開発品質及び生産性向上に引き続き努めて参ります。

当社は持ち株会社としてグループ全体の経営管理機能を担っており 当社単体の収益は主として連結子会社3社から受領する経営指導料等の管理収益で構成されており、当社単体の業績はグループ子会社の動向により変動する性質があります。

グループ子会社の内、株式会社バリューソフトウェアにおいては、昨期と同様、ソフトウェア開発事業の柱として、日立製作所、電通総研(およびその子会社)、TISとのソフトウェアエンジニアリングサービス取引に注力してまいりました。当期は特に、これまで課題であった利益率の低さに着目し、利益率向上に舵を切った営業活動を推進した結果、営業利益の改善を実現することができました。26年度は中期事業計画の最終年度となります。掲げた目標の達成に向け、社員一人ひとりが質の高いITサービスを提供することで、売上・利益ともに持続的な成長を目指してまいります。

株式会社バリューソフトネクストにおいては、昨期と同様、既存顧客との関係強化や中堅社員のプロジェクト変更、契約単価引き上げに注力してきました。また当期は中部地方だけでなくリモート開発による首都圏案件の獲得を目指し、全プロジェクトの20%まで拡大をすることが出来ました。来期からのパートナー営業強化に向けた経営職のマネジメント能力と提案力の向上を行いました。

株式会社バリューソフトアドバンスにおいては、昨期と同様、首都圏大手顧客からの直接受注により地域格差なく良質な仕事を適正な料金で受注することに注力してまいりましたが、さらに新規顧客の開拓を行い顧客を増やすべく営業を行った結果下期から新たに電通総研IT(現電通総研テクノロジー)との直接取引を開始し案件の受注に成功しました。その上で当該新規顧客の受注体制の強化にも取り組み、順調に受注量を増やしております。

当社は、グループ会社間のシナジー効果への期待と、意思決定の迅速化を図り経営資源の最適配分の実現を企図して一昨年に組織形態を持株会社に変更し分社化を実現しました。今後は更にガバナンスの強化を通じて一層の成長と発展を目指してまいります。

### (2) 設備投資の状況

該当事項はありません。

### (3) 資金調達状況

特筆すべき資金調達は行っておりません。

### (4) 財産および損益の状況の推移

| 区 分                               | 第1期<br>(自2022年5月2日<br>至2022年12月31日) | 第2期<br>(自2023年1月1日<br>至2023年12月31日) | 第3期<br>(自2024年1月1日<br>至2024年12月31日) | 第4期<br>(自2025年1月1日<br>至2025年12月31日) |
|-----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 売上高 (千円)                          | 7,500                               | 41,070                              | 267,034 注3                          | 198,672                             |
| 経常利益又は経常損失(△) (千円)                | 2,144                               | △5,310                              | 100,832                             | 7,039                               |
| 当期純利益又は<br>当期純損失(△) (千円)          | 1,495                               | △6,124                              | 100,305                             | 5,167                               |
| 1株当たり当期純利益又は<br>1株当たり当期純損失(△) (円) | 14.96                               | △61.25                              | 1,003.05                            | 51.68                               |
| 総資産額 (千円)                         | 267,243                             | 368,896                             | 397,595                             | 375,236                             |
| 純資産額 (千円)                         | 192,735                             | 186,611                             | 286,916                             | 292,084                             |
| 1株当たり純資産額 (円)                     | 1,927.36                            | 1,866.11                            | 2,869.17                            | 2,920.84                            |

(注1)2025年9月2日付で普通株式1株につき40株の株式分割を行っておりますが、第1期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額を算定しております。

(注2)1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失は期中平均発行済株式総数により、1株当たり純資産は期末発行済株式総数により算出しております。

(注3)子会社からの配当金96,136千円を含んでおります。

### (5) 会社に対処すべき課題

2026年度の国内経済は、緩やかな回復が見込まれる一方で、構造的な人手不足と人件費上昇が企業活動の大きな制約となり、特にシステム開発業界では高度人材の需給逼迫が深刻で、AI・クラウド等高度スキルを備えた技術者の確保と育成が急務であります。更には、金利上昇と外部環境の不確実性や米国の関税政策など外需を巡る不安定要素も続き、収益源の多角化や安定的な案件確保が求められております。

一方で、2025年に急増したTOKYO PRO Market上場企業に共通する課題として上場後の内部管理体制とガバナンス強化が挙げられます。開示体制の整備など、実質基準に基づく継続的な管理強化は不可欠であります。

更に、社会全体ではAI活用・DX需要は引き続き拡大しており、システム開発企業には技術投資の強化とサービスの高度化が求められ、生成AIを含む新技術の普及により、顧客ニーズは急速に拡大しており、技術習得スピードと開発体制の柔軟性が競争力を左右していきます。

総じますと、2026年度における重点課題は、人材戦略の強化、財務健全性の確保、ガバナンス整備、高度化するデジタル需要への迅速な対応であるとの認識のもと、これらを統合的に進めていく所存であります。

## (6) 主要な事業内容

当社は純粋持ち株会社であり、子会社に対して経営指導料及び管理を行っております。なお、子会社の事業内容は、後記(7)②重要な子会社の状況をご参照下さい。

## (7) 重要な親会社および子会社の状況

### ① 親会社との関係

該当事項はありません。

### ② 重要な子会社の状況

| 会社名              | 資本金(千円) | 当社の議決権比率 | 主要な事業内容                               |
|------------------|---------|----------|---------------------------------------|
| 株式会社バリューソフトウェア   | 50,000  | 100%     | 金融他各業界の基幹系/制御系システム開発・クラウド型システムソリューション |
| 株式会社バリューソフトネクスト  | 10,000  | 100%     | 各業界の基幹系/勘定系システム開発・ITインフラ設計/開発・IT設計構築  |
| 株式会社バリューソフトアドバンス | 10,000  | 100%     | ソフトウェア請負開発/ソフトウェア販売/システムエンジニアリングサービス  |

当社の企業集団は、連結子会社3社であります。

当連結会計年度の売上高は1,454,304千円(前期比 4.8%増)、当期純利益は58,063千円(前期比 24.7%増)であります。

## (8) 子会社を含む主要な事業所

| 名称                  | 所在地                                    |
|---------------------|----------------------------------------|
| 株式会社バリューソフトホールディングス | 東京都港区愛宕2丁目5番地1号<br>愛宕グリーンヒルズMORIタワー21階 |
| 株式会社バリューソフトウェア      | 東京都港区愛宕2丁目5番地1号<br>愛宕グリーンヒルズMORIタワー21階 |
| 株式会社バリューソフトネクスト     | 愛知県名古屋市中区栄1丁目10番地3号<br>CK12伏見ビル3階      |
| 株式会社バリューソフトアドバンス    | 北海道札幌市中央区北1条西7丁目1-1<br>CARP札幌ビル5階      |

(9) 従業員の状況 (2025年12月31日現在)

|                     | 従業員数 | 前期比増減 | 平均年齢  |
|---------------------|------|-------|-------|
| 株式会社バリューソフトホールディングス | 8名   | +1名   | 38.8歳 |

(10) 主要な借入先

| 借入先   | 借入金残高(千円) |
|-------|-----------|
| りそな銀行 | 60,016    |

(11) その他会社の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 2. 会社の株式に関する事項（2025年12月31日現在）

- |              |           |
|--------------|-----------|
| (1) 発行可能株式総数 | 400,000 株 |
| (2) 発行済株式の総数 | 100,000 株 |
| (3) 株主数      | 8 名       |
| (4) 株主       |           |

| 株主名        | 持株数     | 持株比率  |
|------------|---------|-------|
| 酒井 雅美      | 89,300株 | 89.3% |
| 小暮 恭一      | 5,000株  | 5.0%  |
| 安田 敦       | 2,000株  | 2.0%  |
| 田中 秀哉      | 2,000株  | 2.0%  |
| 植木 准       | 800株    | 0.8%  |
| 奥園 孝二      | 400株    | 0.4%  |
| 岩下 隆祐      | 400株    | 0.4%  |
| 株式会社マクティズム | 100株    | 0.1%  |

### 3. 会社役員に関する事項

#### (1) 取締役および監査役の氏名等(2025年12月31日現在)

| 地位      | 氏名     | 担当及び重要な兼務の状況                                                      |
|---------|--------|-------------------------------------------------------------------|
| 代表取締役社長 | 酒井 雅美  | 株式会社バリューソフトウェア 取締役<br>株式会社バリューソフトネクスト 取締役<br>株式会社バリューソフトアドバンス 取締役 |
| 取締役     | 植木 准   | 株式会社バリューソフトネクスト 代表取締役社長<br>株式会社バリューソフトアドバンス 取締役                   |
| 取締役     | 安田 敦   | 株式会社バリューソフトアドバンス 代表取締役社長<br>株式会社バリューソフトウェア 取締役                    |
| 取締役     | 田中 秀哉  | 株式会社バリューソフトウェア 代表取締役社長<br>株式会社バリューソフトネクスト 取締役                     |
| 取締役     | 小澤 修   | 株式会社バリューソフトホールディングス 取締役CFO                                        |
| 監査役     | 小暮 恭一  | 株式会社シーキューブソフト 非常勤監査役                                              |
| 監査役     | 板倉 奈緒子 | テモナ株式会社 取締役(監査等委員)<br>板倉公認会計士事務所代表                                |

(注1) 監査役の小暮恭一氏および板倉奈緒子氏は、社外監査役であります。

(注2) 板倉奈緒子氏は公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。

#### (2) 取締役および監査役の報酬等の額

| 役員区分             | 報酬等の総額<br>(千円)    | 報酬等の種類別の総額(千円)    |             |            | 対象となる役員<br>の員数(人) |
|------------------|-------------------|-------------------|-------------|------------|-------------------|
|                  |                   | 基本報酬              | 業績連動<br>報酬等 | 非金銭<br>報酬等 |                   |
| 取締役<br>(うち社外取締役) | 80,040<br>(一)     | 80,040<br>(一)     | —<br>(一)    | —<br>(一)   | 5<br>(一)          |
| 監査役<br>(うち社外監査役) | 4,200<br>(4,200)  | 4,200<br>(4,200)  | —<br>(一)    | —<br>(一)   | 2<br>(2)          |
| 合計<br>(うち社外役員)   | 84,240<br>(4,200) | 84,240<br>(4,200) | —<br>(一)    | —<br>(一)   | 7<br>(2)          |

(注1) 取締役の報酬等の額には、使用人兼取締役の使用人分給与は、含まれておりません。

(注2) 取締役の金銭報酬の額は、2024年3月11日開催の第2回定時株主総会において年額100,000千円以内と決議しております。当該株主総会終結時点の取締役の員数は5名であります。

(注3) 監査役の金銭報酬の額は、2023年3月10日開催の第1回定時株主総会において年額5,000千円以内と決議しております。当該株主総会終結時点の監査役の員数は1名であります。

### (3) 社外役員に関する事項

#### ① 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社との関係

監査役 小暮恭一氏は、株式会社シーキューブソフトの非常勤監査役であります。なお、当社と兼職先との間に特別の関係はありません。監査役 板倉奈緒子氏は、テモナ株式会社の取締役(監査等委員)、板倉公認会計士事務所の代表であります。なお、当社と各兼職先との間に特別の関係はありません。

#### ② 社外役員の主な活動状況

| 区分  | 氏名     | 主な活動状況及び期待される役割に関して行った職務の概要                                                                                             |
|-----|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 監査役 | 小暮 恭一  | 当事業年度に開催された15回(定時12回、臨時3回)の取締役会のうち合計15回に出席し、主に豊富な経営者としての専門的見地から、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するため、経営陣から独立した客観的視点からの発言を適宜行っております。 |
| 監査役 | 板倉 奈緒子 | 当事業年度に開催された15回(定時12回、臨時3回)の取締役会のうち合計15回に出席し、会計の専門家としての知識と経験に基づき適宜発言を行っております。                                            |

# 貸借対照表

(2025年12月31日現在)

(単位:千円)

| 科 目      | 金 額     | 科 目        | 金 額     |
|----------|---------|------------|---------|
| (資産の部)   |         | (負債の部)     |         |
| 流動資産     | 88,007  | 流動負債       | 43,127  |
| 現金及び預金   | 46,649  | 一年内返済長期借入金 | 19,992  |
| 売掛金      | 18,211  | 未払金        | 1,664   |
| 貯蔵品      | 25      | 未払費用       | 12,116  |
| 未収収益     | 880     | 預り金        | 2,826   |
| 短期貸付金    | 20,040  | 未払法人税等     | 1,951   |
| 前払費用     | 2,201   | 未払消費税等     | 3,882   |
|          |         | 賞与引当金      | 695     |
| 固定資産     | 287,228 | 固定負債       | 40,024  |
| 有形固定資産   | 983     | 長期借入金      | 40,024  |
| 工具器具備品等  | 983     |            |         |
|          |         | 負債合計       | 83,151  |
| 投資その他の資産 | 286,244 | (純資産の部)    |         |
| 関係会社株式   | 223,862 | 株主資本       | 292,084 |
| 投資有価証券   | 10,250  | 資本金        | 100,000 |
| 長期貸付金    | 39,880  | 資本剰余金      | 91,240  |
| 差入保証金    | 11,818  | その他資本剰余金   | 91,240  |
| 繰延税金資産   | 433     | 利益剰余金      | 100,844 |
|          |         | その他利益剰余金   | 100,844 |
|          |         | 繰越利益剰余金    | 100,844 |
|          |         | 純資産合計      | 292,084 |
| 資産合計     | 375,236 | 負債・純資産合計   | 375,236 |

# 損益計算書

( 2025年1月1日から  
2025年12月31日まで )

(単位:千円)

| 科 目        | 金 額 |         |
|------------|-----|---------|
| 売上高        |     | 198,672 |
| 売上総利益      |     | 198,672 |
| 販売費及び一般管理費 |     | 192,049 |
| 営業利益       |     | 6,622   |
| 営業外収益      |     |         |
| 受取利息       | 830 |         |
| 受取配当金      | 270 |         |
| 雑収入        | 87  | 1,187   |
| 営業外費用      |     |         |
| 支払利息       | 769 | 769     |
| 経常利益       |     | 7,039   |
| 税引前当期純利益   |     | 7,039   |
| 法人税等       |     | 2,019   |
| 法人税等調整額    |     | △ 147   |
| 当期純利益      |     | 5,167   |

# 株主資本等変動計算書

( 2025年1月1日から  
2025年12月31日まで )

(単位:千円)

|         | 株 主 資 本 |        |              |         | 純資産合計   |
|---------|---------|--------|--------------|---------|---------|
|         | 資本金     | 資本剰余金  | 利益剰余金        | 株主資本合計  |         |
|         |         |        | その他<br>利益剰余金 |         |         |
| 当期首残高   | 100,000 | 91,240 | 95,676       | 286,916 | 286,916 |
| 当期変動額   |         |        |              |         |         |
| 当期純利益   | -       | -      | 5,167        | 5,167   | 5,167   |
| 当期変動額合計 | -       | -      | 5,167        | 5,167   | 5,167   |
| 当期末残高   | 100,000 | 91,240 | 100,844      | 292,084 | 292,084 |

# 個別注記表

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

#### (1) 有価証券の評価基準および評価方法

子会社株式および関連会社株式 …………… 移動平均法による原価法

その他有価証券

市場価格のない株式等 …………… 移動平均法による原価法

#### (2) たな卸資産の評価基準および評価方法

貯 蔵 品 …………… 最終仕入原価法

### 2. 固定資産の減価償却の方法

工 具 器 具 備 品 …………… 定率法

### 3. 引当金の計上基準

賞 与 引 当 金 …………… 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。

### 4. 収益及び費用の計上基準

収益の計上基準は、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。契約開始時において、一定期間にわたり充足する履行義務かどうかを判断し、当該履行義務に該当しないと判断されるものについては、一時点で充足する履行義務としています。

### 5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

該当事項はありません。

## (貸借対照表に関する注記)

### 1. 関係会社に対する金銭債権(区分表示したものを除く)

短期金銭債権 38,251千円

長期金銭債権 39,880千円

### 2. 有形固定資産の減価償却累計額 327千円

(損益計算書に関する注記)

1. 関係会社との取引高

|             |           |
|-------------|-----------|
| 営業取引による取引高  |           |
| 売    上    高 | 198,672千円 |
| 仕    入    高 | -         |
| 営業取引以外の取引高  | -         |

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当事業年度末の発行済株式の総数に関する事項

| 株式の種類   | 当事業年度期首<br>の株式数 | 当事業年度の増<br>加株式数 | 当事業年度の減<br>少株式数 | 当事業年度末の<br>株式数 |
|---------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|
| 普通株式(株) | 2,500           | 97,500          | -               | 100,000        |

当社は、2025年9月2日付で普通株式1株につき40株の割合で株式分割を行ったため、発行株式の総数が、97,500株増加しております。

2. 当事業年度末における自己株式の種類および株式数

該当事項はありません。

3. 配当に関する事項

該当事項はありません。

4. 当事業年度末の新株予約権(権利行使期間の初日が到来していないものを除く。)の目的となる株式の種類及び数

該当事項はありません。

(税効果会計関係に関する注記)

繰延税金資産の発生の主な原因は、投資有価証券評価損及び賞与引当金であります。

## (金融商品に関する注記)

### 1. 金融商品の状況に関する事項

#### (1) 金融商品に対する取組方針

当社グループは、資金計画に基づき、必要な資金を主に銀行借入によって調達しております。一時的な余資は安全性の高い金融資産で運用しております。なお、デリバティブは、投機的な取引は行わない方針であります。

#### (2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である売掛金及び貸付金は、子会社の信用リスクに晒されております。差入保証金は、当社グループ事務所の賃貸借契約によるものであり、差入れ先の信用リスクに晒されております。

投資有価証券は、主に取引先企業との業務又は資本提携等に関連する株式であり、発行体の信用リスクに晒されております。

借入金は、主に運転資金及び設備投資に必要な資金の調達を目的としたものであります。変動金利であるため金利の変動リスクに晒されております。

#### (3) 金融商品に係るリスク管理体制

##### ① 信用リスク(取引先の契約不履行に係るリスク)の管理

営業債権である売掛金及び貸付金については取引に先立ち顧客の信用リスクを把握し、信用リスクの高い取引先とは取引を行わない方針とするとともに、取引先毎に期日管理及び残高管理を行っております。

差入保証金については、差入時に差入先の信用状況を把握するとともに、差入後も差入先の信用状況の変化について留意しております。

##### ② 市場リスク(為替や金利変動リスク)の管理

借入金については金利動向を注視することで金利変動リスクの早期把握を図っております。

投資有価証券については定期的に時価や発行体(取引先企業)の財務状況等を把握し、取引先企業等との関係を勘案して保有状況を継続的に見直しております。

##### ③ 資金調達に係る流動性リスク(支払い期日に支払いを実行できなくなるリスク)の管理

流動性リスクについては適時に資金繰り計画を作成・更新することにより管理しております。

#### (4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。

当社グループは、資金計画に基づき、必要な資金を主に銀行借入によって調達しております。一時的な余資は安全性の高い金融資産で運用しております。なお、デリバティブは、投機的な取引は行わない方針であります。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

2025年12月31日(当期の決算日)における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位:千円)

|                           | 貸借対照表計上額 | 時価     | 差額   |
|---------------------------|----------|--------|------|
| (1)差入保証金                  | 11,591   | 10,943 | △648 |
| (2)長期貸付金<br>(1年以内回収予定を含む) | 59,920   | 59,920 | -    |
| 資産計                       | 71,511   | 70,863 | △648 |
| (3)長期借入金<br>(1年以内返済予定を含む) | 60,016   | 60,016 | -    |
| 負債計                       | 60,016   | 60,016 | -    |

(\*1) 「現金及び預金」、「売掛金」、「未払費用」、「未払法人税等」、「未払消費税等」、及び「預り金」については、現金、及び短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(\*2) 市場価格のない株式等は、上表には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

(単位:千円)

| 区分     | 当事業年度   |
|--------|---------|
| 関係会社株式 | 223,862 |
| 非上場株式  | 10,250  |

(\*3) 貸借対照表における差入保証金の金額と金融商品の時価開示における「貸借対照表計上額」との差額は、当事業年度末における差入保証金の回収が最終的に見込めないと認められる金額の未償却残高であります。

(注)1. 金銭債権の決算日後の償還予定額

(単位:千円)

|        | 1年以内   | 1年超<br>5年以内 | 5年超<br>10年以内 | 10年超 |
|--------|--------|-------------|--------------|------|
| 現金及び預金 | 46,649 | -           | -            | -    |
| 売掛金    | 18,211 | -           | -            | -    |
| 長期貸付金  | 20,040 | 39,880      | -            | -    |
| 合計     | 84,900 | 39,880      | -            | -    |

差入保証金については償還予定が明確に確定できないため、上表には含めておりません。

(注)2. 長期借入金の決算日後の返済予定額

(単位:千円)

|       | 1年以内   | 1年超<br>2年以内 | 2年超<br>3年以内 | 3年超<br>4年以内 | 4年超<br>5年以内 | 5年超 |
|-------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|
| 長期借入金 | 19,992 | 19,992      | 20,032      | -           | -           | -   |
| 合計    | 19,992 | 19,992      | 20,032      | -           | -           | -   |

### 3 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価: 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価: 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価: 観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価で貸借対照表に計上している金融商品

該当事項はありません。

(2) 時価で貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

(単位:千円)

| 区分                | 時価   |        |      |        |
|-------------------|------|--------|------|--------|
|                   | レベル1 | レベル2   | レベル3 | 合計     |
| 差入保証金             | -    | 10,943 | -    | 10,943 |
| 長期貸付金(1年内回収予定を含む) | -    | 59,920 | -    | 59,920 |
| 資産計               | -    | 70,863 | -    | 70,863 |
| 長期借入金(1年内返済予定を含む) | -    | 60,016 | -    | 60,016 |
| 負債計               | -    | 60,016 | -    | 60,016 |

(注) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

#### 差入保証金

差入保証金の時価は、合理的に見積もった返還予定時期に基づき、その将来キャッシュ・フローを国債の利率で割り引いた現在価値により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

#### 長期貸付金

長期貸付金の時価は、変動金利による貸付金であるため、短期間で市場金利を反映し、また、貸付先の信用状態は貸付実行後大きく異なっていないことから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額としており、レベル2の時価に分類しております。

#### 長期借入金

長期借入金の時価は、変動金利による借入金であるため、短期間で市場金利を反映し、また、当社の信用状態は借入実行後大きく異なっていないことから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額としており、レベル2の時価に分類しております。

## (関連当事者との取引に関する注記)

### 1. 親会社及び法人主要株主等

該当事項はありません。

### 2. 子会社及び関連会社等

(単位:千円)

| 種類  | 会社等の名称                   | 議決権等の所有(被所有)割合 | 関連当事者との関係      | 取引の内容     | 取引金額(注2) | 科目      | 期末残高(注2) |
|-----|--------------------------|----------------|----------------|-----------|----------|---------|----------|
| 子会社 | 株式会社<br>バリューソフト<br>ウェア   | 所有<br>直接100%   | 資金の援助<br>役員の兼任 | 資金の貸付(注1) | 55,960   | 長期貸付金   | 41,920   |
|     |                          |                |                | 利息の受取(注1) | 520      | その他流動資産 | -        |
|     |                          |                |                | 経営指導料(注2) | 125,160  | 売掛金     | 11,473   |
|     |                          |                |                | 地代家賃(注3)  | 9,600    | 未払金     | 880      |
| 子会社 | 株式会社<br>バリューソフト<br>ネクスト  | 所有<br>直接100%   | 資金の援助<br>役員の兼任 | 資金の貸付(注1) | 1,200    | 長期貸付金   | 9,000    |
|     |                          |                |                | 利息の受取(注1) | 111      | その他流動資産 | -        |
|     |                          |                |                | 経営指導料(注2) | 31,788   | 売掛金     | 2,913    |
| 子会社 | 株式会社<br>バリューソフト<br>アドバンス | 所有<br>直接100%   | 資金の援助<br>役員の兼任 | 資金の貸付(注1) | 1,200    | 長期貸付金   | 9,000    |
|     |                          |                |                | 利息の受取(注1) | 111      | その他流動資産 | -        |
|     |                          |                |                | 経営指導料(注2) | 41,724   | 売掛金     | 3,824    |

#### 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1)株式会社バリューソフトウェア、株式会社バリューソフトネクスト、株式会社バリューソフトアドバンスに対する資金の貸付については、市場金利を勘案して決定しており、返済条件は期間5年、毎月返済としております。なお、担保は受け入れておりません。

(注2)経営指導料の受取に関する契約に基づき、合理的に決定しております。

(注3)地代家賃の受取に関する契約に基づき、合理的に決定しております。

(注4)取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

### 3. 役員及び個人主要株主等

該当事項はありません。

## (収益認識に関する注記)

### 1. 収益の分解

当社は、システム開発事業を営む子会社3社の持ち株会社であり、当該事業年度の売上高は子会社3社からの経営指導料で賄われております。

### 2. 収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に関する注記」の「4. 収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

(一株当たり情報に関する注記)

|               |        |     |
|---------------|--------|-----|
| 1. 1株当たり純資産額  | 2,920円 | 84銭 |
| 2. 1株当たり当期純利益 | 51円    | 68銭 |

当社は、2025年9月2日付で普通株式1株につき40株の割合で株式分割を行ったため、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し1株あたり純資産額及び1株あたり当期純利益を算定しております。

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

## 監査報告書

私たち監査役は、2025年1月1日から2025年12月31日までの第4期事業年度における取締役の職務執行を監査いたしました。その方法及び結果について以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

各監査役は取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については子会社の取締役と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

#### (1)事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2)計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2026年2月26日

株式会社バリューソフトホールディングス

監査役 小暮 恭一 ⑩

監査役 板倉 奈緒子 ⑩